



# 一見えない風景一

## 香川・丸亀編

日常を違う角度から見たり発見したりする実験です。モニュメント化された土地固有の名所ではなく、日常風景に転がる人々の営みのオブジェを見つけて、「言葉の地図」を描きます。一緒に、目の前の世界に自分の視点を見つけて交換して、日常を冒険してみませんか。

ある夏の終わりに、あるイベントの打ち上げが大阪の下町のある居酒屋さんで行われた。打ち上げ幹事のMちゃんが送ってくれた招待メールの居酒屋さんの場所への地図は、インターネットの地図の添付ではなく、彼女の言葉の地図で駅から丁寧に書かれていた。当日、実際にそれを辿って行くと、その地元で暮らす彼女が見ている何気ないランドマークがそこに並んでいて、導かれるように彼女の視点で町を散歩していることに気がついた。たぶん、人はそれぞれ見えている風景が違うわけだけど、普段それを意識しないとすべては「当たり前」になってしまう。もしかすると、写真家やアーティストはそんな気がつかなかった視点を見いだしている人達なのかもしれない。(だったらMちゃんもそういう人なのだ)このワークショップは、これまで様々な場所で毎回その場所に合わせたマイナーチェンジを重ねながら行われました。今回は丸亀が舞台となります。美術館周辺を歩き、「言葉の地図」をつくります。いつもの風景を、冒険してみませんか。

下道基行(したみち・もとゆき)

1978年岡山生まれ。2001年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。日本国内の戦争の遺構の現状を調査する「戦争のかたち」、祖父の遺した絵画と記憶を追う「日曜画家」、日本の国境の外側に残された日本の植民/侵略の遺構をさがす「torii」など、展覧会や書籍で発表を続けている。フィールドワークをベースに、生活のなかに埋没して忘却されかけている物語や日常的な物事を、写真やイベント、インタビューなどの手法によって編集することで視覚化する。<http://m-shitamichi.com/>

日時：2017年10月15日(日)

10:00 - 16:00 (途中、休憩を含む)

講師：下道基行(写真家/美術家)

場所：2階造形スタジオ、美術館周辺

対象：小学5年生~大人

※小学生は要保護者同伴、保護者も参加者としてご参加いただけます。

定員：15名

参加料：無料

申込：要申込

締切：10月4日(水)必着

申込方法：

ワークショップ名/名前(ふりがな)/年齢(学年)/郵便番号/住所/電話番号を書いて、メール(workshop@mimoca.org)もしくはハガキでワークショップ係までお申し込みください。当館ウェブサイト(<http://mimoca.org>)のフォームからお申し込み可能です。

※応募者多数の場合は抽選し、その結果は締切後全員にハガキでお知らせします。

※兄弟・お友達同士の場合、1通のメールもしくはハガキで一緒にお申し込みができます。

※メールまたはフォームでお申し込みの場合、申込締切日の翌日12:00までに受付完了の返信メールが届かなければその日の18:00までにお電話にてご連絡ください。

※締切後でも定員に満たない場合は、受け付けできますのでお問い合わせください。



JR丸亀駅前地下駐車場・2時間無料

(当館1階受付にて駐車券をご提示ください)

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

公益財団法人ミモカ美術振興財団

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1 (JR丸亀駅前)

Tel 0877-24-7755 Fax 0877-24-7766

URL <http://www.mimoca.org>

Mail [workshop@mimoca.org](mailto:workshop@mimoca.org)

